



佐呂間町長 武田 温友

新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆様には、輝かしい初春を
穏やかに迎えのこととお慶び申し
上げます。旧年中は、町政全般にわ
たり格別のご理解とご協力を賜り、
心から厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルス
の影響により1年間延期され
ておりました「2020東京オリ
ピック・パラリンピック」が「多様性
と調和」「未来への継承」などを基本
コンセプトに開催され、各競技にお
いて数々の熱戦が繰り広げられ、私
たち国民に多くの感動と希望を与え
てくれましたことは、記憶に新しい
ところであります。

経済情勢に目を向けますと、コロ
ナショックの影響による落ち込みか
ら徐々に回復傾向にあり、先進国を

中心にワクチン接種が進み、防疫と
経済活動の両立が進んでいるもの
の、一方で原材料の不足や原油価
格の高騰など、生産・消費活動にお
いて今もなお多大な影響を及ぼして
います。

国内情勢では、衆議院議員総選挙
が行われ、自民党が絶対安定多数を
確保し、岸田文雄自民党総裁が第
100代内閣総理大臣に就任、先の
臨時国会での所信表明において「コ
ロナ克服・新時代開拓のための経済
対策」として、総額55兆円余りの大
規模な方針を打ち出しました。新政
権においては、引き続き新型コロナ
への万全の対応と経済の立て直し、
政治に対する疑惑や疑念などの諸問
題を解決し、国民の目線に立った安
定した政治を望むものであります。
さて、本町を振り返りますと、農業
においては、6月から7月にかけて
これまで経験したことのない干ばつ
の影響により、牧草やデントコーン
の収量が減少し、計画を下回るこ
とが懸念されましたが、農産物全体で
は農協の販売計画を若干上回る結果
となりました。

しかしながら、酪農畜産において
は、生乳生産では目標数量を達成し
ましたが、平均乳価では新型コロナ
ウイルスの影響により昨年を下回
り、また個体販売では、冷夏により
府県における更新需要の低下によ
り、初任午の相場が下落し、初生卜

クも低調な状況が続いたため、農業
販売額全体では、計画を下回ること
となりました。

漁業では、外海水タテは計画どお
り、養殖ホタテは計画を若干下回る
ものの、おおむね目標の生産数量と
なり、販売価格は、海外・国内にお
ける需要の拡大により、昨年より高
い水準となりました。

さて定置網は、漁獲量、漁獲高と
も昨年を上回り、佐呂間漁協におけ
る総水揚げ額は、一昨年の水準まで
回復しております。

林業では、造林・下刈事業など、
各種の補助制度を活用しながら、継
続的な森林資源の保全と適切な保護
育成に努めました。

商工業においては、コロナ禍にお
ける経済対策として、昨年に引き続
きプレミアム分を増加したふるさと
商品券の発行を行うとともに、宿
泊・飲食事業者への支援として、経
営維持支援事業並びに宿泊業活性化
事業を実施し、感染防止対策に対す
る助成と町内消費の拡大及び事業の
回復に努めたところであります。

また、災害発生時における町民の
皆様の命を守る緊急の伝達手段とし
て「防災行政無線」を整備、昨年4月か
ら運用を開始し、平時においては、ま
ちの様々な情報発信に努めております。
さらに教育の推進では、高校存続
対策として「佐呂間高校生に対する
各種応援事業」を、子育て支援対策

の一環として「学校給食費無償化」
を実施し、保護者の皆様の負担軽減
を図ったところであります。

町長就任から1年3か月が経過
し、地方行政を取り巻く環境が厳し
さを増す中、その職責の重さを痛感
する日々であります。私に与えら
れた使命は「ふるさとサロマをより
良いまちにする」ことであり、「子ど
もたちには夢と希望を、働き盛り世
代の方には佐呂間町で働く誇りを、
高齢者の方にはいつまでも住み慣れ
た家で暮らせる安心を」をモットー
に、昨年からスタートしたまちづく
りのビジョンを示す、第5期町総合
計画の「安全安心で豊かなまち」「自
然とともに持続可能な循環型の産
業」「絆を深め地域ぐるみで支えあ
う福祉のまち」「心を豊かにする学び」
の4つの施策大綱を掲げ、「自然の恵
みに感謝し、人が人を支え、共に創
（つく）る、生涯の郷（さと）、サロマ」
の実現に向け、町民福祉の向上と本
町の更なる発展に向けた「新しい佐
呂間町の創造」に、私ども町職員一
丸となって全力で取り組んでまい
る所存であります。

結びに、新しい年が皆様にとって
実りある最良の年となるとともに、
益々ご健勝でご活躍されますことを
心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶
といたします。



佐呂間町議会議長

佐藤 昭男

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、ご健勝にて輝かしい令和4年の新春を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国際的には、年明け早々アメリカ大統領としてバイデン氏が就任しましたが、北京オリンピックの外交的動きをみせたり、米軍撤退によりタリバンのアフガニスタン制圧や、ミャンマーでのクーデター発生など、世界情勢もコロナ禍で揺れる中、なかなか穏やかにはなりません。

一方、国内においては、春先から新型コロナウイルスの接種が開始される中、7月、8月には原則無観客による東京オリンピック、パラリンピックが開催され、それぞれ史上最多の58個と史上2位の51個のメダルを獲得し、テレビ等でしか観戦でき

ない国民に勇気と感動を与えてくれました。10月には衆議院の解散による総選挙が行われ与党の勝利で岸田内閣が発足しましたが、コロナの変異株による第6波の恐れもある中、感染拡大の抑制と経済の活性化を両立することに苦慮しているようです。

さて、本町をかえりみますと、基幹産業の農業は、夏場の干ばつの影響で飼料作物は減収となったものの農作物の販売額は当初計画の9%増の実績となり、また酪農畜産は、生乳価格、個体価格とも下落し計画から52%減、農業全体では計画の3%減となりました。漁業については、外海ホタテ、養殖ホタテとも、数量はほぼ計画通りですが、価格は景気回復や高歩留まりにより上昇、さけ魚については、価格、漁獲高ともに前年よりアップし、佐呂間漁協総水揚げ額は前年比28%増となりました。

地域経済、雇用環境は依然として厳しい状況になっておりますが、商業活性化事業や宿泊業活性化事業、通常よりプレミアム率を増した商品券発行などの各種施策により、コロナ禍の中、町内消費活動の活性化が図られておりますが、春からは本町においても3回目のワクチン接種が開始の予定であり、一日でも早く平穏無事な日常が戻ることを望むものであります。

地方創生が叫ばれている昨今、地方を取り巻く環境は大きく変化して

おり、基幹産業の活性化対策、人口減少対策、少子高齢化社会に対応する医療・福祉政策等の充実が求められています。

このような状況の中、昨年の町議選により議会構成が変わりましたが、本町が自立した町として歩み続けていく上で、将来を見据えた安定的な行財政運営が可能となるように、時代の大きな変革期にあることを踏まえ、的確かつ適正な議会運営に全力を傾注し、町民に開かれた議会を目指してまいりますと存じます。今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年も、市民の皆様にご健勝で幸多い年になりますことをご祈念申しあげ、新春のご挨拶といたします。

二〇二二年

賀正